

茂野太陽です。お疲れ様です。

今日は

捨てアドだらけの無料レポート紹介 をしながらも濃いアドレスを GET す る方法

こちらをこの「特別レポート」でお話しさせていただきます。

現在10,000部を超えている私のメルマガ「ツールで稼ぐ SE プログラマのためのセカンドライフ」
ですが、実は結構濃いメルマガですねって良く言われます。

一通のメルマガでクリック率3%を超えることも多いんです。

10000部の3%ですからたった300人なのですが

最近のメルマガ発行者の中には1%にもみたくないという方が多いことから

考えるとかなりのクリック率ではないかと自負しております。

1日1通で、3日ほど同じものを紹介すると1000クリックという場合も時として御座います。

3日に1回程度しか読んでいない方が多く存在するという裏返しでもありますね(爆)

10000万部で、1000クリックというのはなかなかだと思いませんか？

それでは、核心部分からお話します。他にもテクニック的なことは
ございますが・・・それは核心部分のお話が終わった後にお話いたします。

ポイントとしては、

1.「無料レポートの紹介は必ず自分の言葉を添える」

2.「無料レポートは部数の少ないメルマガ初心者のレポートを中心に紹介する」

この二つです。

なぜこの二つを徹底していくと、濃いメルマガに育つのか、それをお話していきます。

眠い人もいるかとは思いますがお付き合いいただければ幸いです。

現在、無料レポートスタンドは様々御座いますが
私がレポート紹介、レポート公開で、主に利用しているのは、
メルぞう、無料情報ドットコムです。

これは、誰が自分のどのレポートを紹介してくれているのか？
これがわかりやすいからです。

「**誰がどのレポートを紹介してくれているのか**」をその都度確認することで
自分のメルマガにどんな人の属性が飛び込んできているのか？
それを知ることが出来ますよね。

これによってより新規購読者にあった内容をメルマガで提供できます。

だれかが「**携帯系**」の私のレポートを紹介してくれたなら、代理登録後に
流すメルマガの内容は「**携帯**」絡みのお話をかならず入れる。

だれかが「**メルマガ系**」の私のレポートを紹介してくれたなら、代理登録後に
流すメルマガの内容は「**メルマガ**」絡みのお話をかならず入れる。

こうすることで、無料レポートの続き、補足情報などをいつも提供してくれる
メルマガだと思ってもらえるようになり、開封される機会が増えていきます。

まっ、これくらいは多くの人がやっているものとは思いますがね。

やっていないならそれは損ですよ。

購読の一発目が大切ですからね。

ただし、以下に示す

「誰がどのレポートを紹介してくれているのか」

の使い方に比べれば、ぜんぜん濃い読者ではありません。

いったいどんな方法を用いているのか？

↓
↓
↓
↓

ツールで稼ぐ！SEプログラマのためのセカンドライフ

2008/01/07 **無料レポート紹介のターゲットは、購読者じゃない**

茂野 太陽

あなたは無料レポートを書く人ってどんな人が多いのか・・・

ご存知ですか？

メルマガ読者を増やしたい人。。。

これは確かにそうでしょう。

しかし、そんな人たちを、さらに掘り下げていくと

どんな人たちが多いと思いますか？

おおむね、メルマガアフィリをはじめようとして、右も左もわかるずに・・・

とりあえず、無料レポートを書き、紹介している初心者の人たちが多いことに

気付く事でしょう。

今すぐに稼ぎたい人たちの集まり

無料レポートを購読し、知識を膨らませているだけの人よりも

何倍も何倍も今すぐに稼ぎたい人たちですよ。

わかりますか？

通常、無料レポートを紹介する時には、レポートを購読する人をターゲットに

メルマガなどで紹介しますよね。

しかし、私は、こっそりその無料レポートを書いている人、その発行人を

ターゲットにしているんです。

紹介によって得た**100人の購読者**よりも・・・

発行人**1人をターゲット**としているんです。

作者が一生懸命書いたレポートを単に「リンク」と「タイトル」だけで紹介するのではなく、きちんと心を込めて良い面、悪い面、さらには私の視点をプラスしてレポートの紹介をしているんです。

これをやっていくとどんな事が起こるのかは、もう想像できますよね。

「無料レポートの紹介ありがとうございました！」

こんな感謝のメールが届くようになるんです。

無料レポートの発行人が私にコンタクトをとってきてくれるんです。

あとは、初心者に対して丁寧にメールで対応し、簡単なアドバイスなどを返信します。

初心者の頃に、

- コンタクトをとった人
- 丁寧にアドバイスをしてくれた人

こんな人をあなたはそれ以後、忘れる事ができますか？

多くの場合、

「メルマガを購読させていただき、勉強させていただきます。」

こんな答えがやってくるんです。

今すぐ稼ぎたい人にターゲットを絞っただけで、こんな事が
現実に起こってくるんです。

私は濃い読者を得たいので、知識欲によって動かされる人ではなく

より活発な人にターゲットを絞っているんです。

- 1.「無料レポートの紹介は必ず自分の言葉を添える」
- 2.「無料レポートは部数の少ないメルマガ初心者のレポートを中心に紹介する」

この2点がもたらす効果……

捨てアド購読者を集めながらなんとなく濃い読者をあつめるよりも

効果があることはわかりただけでしょうか？

メルマガを発行している人が、自分のファンになってくれると

私が作成した無料レポートを、丁寧な紹介文を添えて紹介してくれる確率も

高まるといった**2次的効果もあり、「濃い流れの循環」**が発生しはじめます。

もちろん最初の部数が少ない時にはあまり効果が無いでしょうが

心構えとして常に目の前に「濃い読者」がいることを忘れないようにして下さい。

茂野太陽

★感想メールは、このメルマガに「返信」をするだけで送れます。ポチっ！

発行者: 札束技術工房
茂野太陽(しげのたいよう)

おかげさまで11,000部

http://tools.richprogramer.com/mail_magazine/

※このメルマガでは私の考え・持つ手法を自由かつ一方的に
お伝えさせて頂いております。

※いただいたメールは承諾なしに、個人を特定できない形でメルマガ
サイト等で引用させていただくことがあります。

※無料レポート等の協賛登録による代理登録を定期的に行っております。

※私の発言、記載内容等によって気分を害されてしまった場合は以下の
URL よりいつでもこのメルマガを解除できます。

配信解除⇒ <http://blog.mag2.com/m/log/0000214537/>

Copyright (C) 2006-2008 RICH PROGRAMER All Rights Reserved.

【おまけ】

■読者を濃くするテクニック編

1. メルマガ読者にはメルマガを読んでもらう。

メルマガの購読者を増やしたいのにも関わらず・・・

自分のメルマガを読ませること無くアフィリエイトや、無料レポートに
流している人が多いですね。

購読者を増やしたいなら、あなたの声を、メルマガを、読んでもらうことを
常に意識してみてください

私の場合は、**無料レポートにせよメルマガにせよ**必ずバックナンバーを
読んでもらう工夫をしています。

Copyright (C) 2006-2008 RICH PROGRAMER All Rights Reserved.

メルマガバックナンバー

ビジネスで成功する為の立体的な思考とは？

情報の密度を高め人気サイトを作り上げる

情報の密度 と 内的 SEO のお話

情報の密度 と メルマガアフィリのお話

2008 年ネットビジネスの展望と未来を創り上げるヒント

無料レポートで無料レポートを紹介し、さらに読者を増やす作戦を

多くの方がとっていますが・・・どれだけ成功していますか？

購読者は無料レポートが読みたいのではなく、知識、ノウハウ、こういった情報が欲しいんです。わざわざ無料レポートスタンドにメアドをいれてダウンロードするなんて面倒なんです。

他人の無料レポートに書かれていることを

あなたの言葉で、同じような内容で追記してあげた方が

濃い読者を得るためにはより効果的なんです。

購読者が代理登録される前に、どんな感じのメルマガなのかを

わかってもらうために最適なバックナンバーを選び掲載した方が

濃い読者をゲットできる

代理登録の後に、代理登録の挨拶メールを送るよりも

手間ではないと思いませんか？

2. メルマガの迷惑メール行き対策を自分で分析し届くメールを配信する

多くの方が迷惑メール判定にとっても神経質になっているようですが・・・
届いているメールと届いていないメールを分析していますか？

ほんのちょっとで、「これは届くから大丈夫」というアフィリ誘導に
騙されるようなことはなくなります。

誰がどんなメール配信ソフト(サービス)を使っているのかをチェックしましょう。

これはメールのヘッダを見れば一目瞭然です。

例えば K さんの場合

Received:from 24auto.biz

と記載されていました。つまり配信サービスとして 24auto.biz を使っているということがわかります。

また、H さんの場合は

Received:from xxxxxx.ps.combzmil.jp

と記載されていました。つまり配信サービスとして combzmil.jp を使っているということが分かります。

一方、Y さんの場合は

Received:from from xxxxx.sakura.ne.jp

X-Mailer:adToOne version 3.7.3

と記載されていました。これは sakura.ne.jp の SMTP を利用してメールソフト adToOne で送信している事が分かります。

※配信サービス利用であれば通常

Received:

メールソフト利用であれば

X-Mailer:

や、Message-ID:

などをチェックし現在有効な配信サービス、配信形態を月に1度は確認しましょう。

それでもつかめない場合は、おそらくレンタルサーバに CGI 等をインストールして配信しているものと思われます。

迷惑メールは読者の一人の迷惑メール判定だけで、右往左往してしまいます。届くといわれて利用した配信サービスがすぐに使えなくなるといったことも日常茶飯事なのです。

日頃からどんな種類のメール配信サービスであったり、メールソフトであったりと自分で分析しておく事で、急激なネットの変化にも柔軟に対応できるようになります。

簡単に確実に届けたいならみんなが使っていないメール配信サービスやみんなが使っていないレンタルサーバからの SMTP 配信(CGI、メールソフト)を使うこと。

追伸：

同じ配信スタンドを使っているにも関わらず「迷惑メール」と判定される人とされない人が存在します。このお話は以前レポートでまとめてありますのでこちらを参考にして下さい。

【迷惑メールフォルダ行き対策】SPAMメール判定の仕組みとは？



迷惑メール判定の仕組みを知って確実に読まれるメルマガを届けたくはありませんか？ SPAMメール判定基準がどんどん進化する今後を見越したメルマガ配信対策

3. 情報の密度を高め読者を引き寄せる原理

過去のメルマガで、SEO が叫ばれるずっと以前から存在する根本的な原理

「ものともとのが惹かれあうとはどういうことなのか？」を「情報の密度」という「ものさし」でお話しましたので紹介します。

1. ビジネスで成功する為の立体的な思考とは？

ネット上に溢れている情報のほとんどは、「〇〇を□□にやったら稼げる」といった「点」や「線」の情報です。それを拾い集め知識として吸収しながらも結果がでない人、いわば「ノウハウコレクター」が生まれてしまうのもこんな背景があるからなんです。必死に、情報をかき集めてもその知識をなかなか「立体」的に構築出来ないのす。無限に...

2. 情報の密度を高め人気サイトを作り上げる

今日は、あなたが生み出すものを人気者にするための簡単な方法を提供します。「切り口を変える」答えはこれだけです。ネットビジネス界を見渡すと、ほぼ情報が出尽くしたように表現される場合が多いです。実際そうなのでしょう。新しい情報を作り出すことは「発明」であり「発見」ですからなかなか凡人が生み出すことは難しい...

3. 情報の密度 と 内的SEOのお話

先日、「情報の密度」というお話をメルマガで流しました。一部の方に、大好評だったのでその続編をお送りします。今日は「情報の密度というものさし」をSEO対策で使ってみます。密度の高いものに、人は引きつけられるという原理が存在しそれを意識し...

4. 情報の密度 と メルマガアフィリのお話

前回は、「情報の密度」というものさして内的SEOのお話をしました。今日は、「情報の密度」というものさしてでメルマガアフィリを解説しましょう。最近のメルマガアフィリの手法といえばステップメールですが、やはり多くの人々が未だに行っているメルマガ手法といえば、「福田式」、「おず式」でしょう。この二つについて「情報の密度」...

■最後に太陽からメルマガアフィリ初心者へのメッセージ

メルマガをはじめた頃、商品を紹介する、買ってもらうことに罪悪感を感じてしまう人が多く存在します。

私も例にもれず同じ経験をしてきました。

今ではアフィリすることにそれほど罪悪感を感じないでできるようになりました。

いったい何が変わったのかというと・・・

罪悪感に対する考えが変わった

・・・
・・・
・・・
・・・

罪悪感に襲われるのは、自分にポリシーが無いから・・・


最近是这样うようになったのです。

結局、罪悪感をもってアフィリする事の方が購入者に失礼なことなんですよ。

アフィリする大義名分を自分の中に構築したことで
メルマガの流れに一致するものであれば思う存分アフィリできるようになりました。

自分の心をまずは成長させていきましょう！

無料メルマガジンをツールで稼ぐ！SEプログラマのためのセカンドライフ

powered by  登録

今日はここまで。

茂野太陽
info@richprogramer.com